

第1回  
(2011.10.3)

## 『大学図書館の機能と研究活動』

古賀崇准教授 (附属図書館研究開発室)

### 第1回：講義

- ・場所：吉田南総合館 共東 41
- ・出席者数：72名+職員4名
- ・配付物：PPT資料 (A4 両面 7p), 授業スケジュール (A4 片面 1枚), アンケート(A4 片面 1枚), 「情報リテラシーを身につけよう」『静脩』vol.48 no.1 p.4-5 (A4 両面 1枚)  
<http://hdl.handle.net/2433/145925>
- ・参考文献：『大学生と「情報の活用」』 [http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/jt\\_index.html](http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/jt_index.html) (学内限定)

### 講義内容

#### ◆ 本日の内容

- ・ 大学での学習・研究に必要なこと→この科目に学ぶこと
  - 最新の研究成果はどこにあるのか
  - 成果(論文)をみるか、解説(図書・新聞)をみるか
- ・ 大学図書館の役割

#### ◆ この科目の目的(参照：別紙「情報リテラシーを身につけよう」)

- ・ 情報リテラシーの向上
- ・ レポート・論文の執筆に必要な技能とルールの習得

#### ◆ 大学での学習・研究に必要なこと

##### ◎ 学習・研究のポイント

- ・ 様々な領域・トピックの中から、適切な領域・トピックを選択する
- ・ 領域・トピックにふさわしい情報源(根拠)を選択し、それに沿って自分の主張を組み立てる

##### ◎ 例：「食材のトレーサビリティをめぐる現状について」

##### ◎ この科目で学ぶこと(1)：分類と目録

- ・ 「情報の整理や探索の基盤」としての分類
- ・ 分類に基づいた学問領域の上下関係・類縁関係

##### ◎ この科目で学ぶこと(2)：参考資料(辞書・辞典類)の使い方

##### ◎ この科目で学ぶこと(3)：さまざまな「検索」とその留意点

#### ◆ 大学図書館の役割

##### ◎ 図書館の種類の違いを認識すべし!

- ・ 公共図書館と大学図書館

##### ◎ 大学図書館での情報源の特徴

- ・ 学術書・専門書が中心
- ・ 幅広い範囲の情報源を扱う
- ・ 電子的・ネットワーク上の情報源が多い
- ・ 活用のカギは、図書と学術雑誌・学術論文を認識すること!

##### ◎ 大学図書館での主な情報源の区分

##### ◎ 書架上の分類の役割

- ・ 館内を歩けば、どのような資料があるか把握できる
- ・ 館の特性に応じ、資料の特色が出る

##### ◎ ネット上の情報は「目に見えない」

##### ◎ 雑誌

- ・ 学術雑誌は一般の雑誌とは異なる!

##### ◎ 学術雑誌の中の論文の重要性

- ・ 最新の研究成果が論文として現れる
- ・ 引用されることの多い論文が重要とされる

- ・ 雑誌の中の論文をいかに探し出すか、が大事なスキル
- ◎ 電子ジャーナル (EJ) ・ データベース (DB)
  - ・ 「商品」として大学が契約
  - ・ 京大では「ECS-ID」の取得がこれらの利用に必要
- ◎ さまざまなデータベース
  - ・ 新聞記事・百科事典・論文検索・法律判例・統計・特許
- ◎ 図書館機構ウェブサイト <http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/>
  - ・ タブで切り替え
  - ・ 左側のメニューから選択
- ◎ データベースによって検索対象は異なる (参照：別紙「情報リテラシーを身につけよう」)
  - ・ 多用されるデータベースは、KULINE, CiNii, Web of Science
- ◎ その他
  - ・ 貴重書 / 書店にない冊子類 / 新聞など
- ◎ 京大の図書館・室の特徴
  - ・ 附属図書館：主に、全学の3,4回生がターゲット
  - ・ 人環・総人図書館：全学の1,2回生・「人環」の院生・「総人」の学生がターゲット
  - ・ 学部局の図書館・室：部局の学生・院生・研究者がターゲット
  - ・ 京大全体での図書館・室の数：50以上
- ◎ 相互利用による、図書館活用の向上
- ◎ KULINE の場合
  - ・ ノーヒットのとき、「他大学の所蔵を探してみる」の誘導表示
- ◎ まとめ
  - ・ 大学での学習・研究のポイントは「適切な領域・トピック」「適切な情報源」の選択
  - ・ これらを助けるための図書館の機能

◆ 授業を進める上での注意点など

- ◎ 「情報探索入門」の授業用ページ (図書館機構トップページの右下より)
  - ・ [http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/support/index.php?content\\_id=3](http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/support/index.php?content_id=3)
- ◎ 履修 (人数) 制限について
  - ・ この科目の受講は、「KULASIS での履修登録」「吉田南1号館のPCでの受講申込」が必要
  - ・ 受講申し込みは10/7 (金) まで
- ◎ 参考書『大学生と「情報の活用」』の案内
- ◎ おすすめ文献
  - ・ 小山田耕二・日置尋久・古賀崇・持元江津子. 研究ベース学習. コロナ社, 2011.
  - ・ 井上真琴. 図書館に訊け!. 筑摩書房, 2004. (ちくま新書 486)
- ◎ その他
  - ・ 教室に注意 (講義=共 41 / 演習=メディアセンター南館 203,204、ただし「参考」は例外)
  - ・ 演習までに ECD-ID を取得し、自分の ID・PW と覚えておくこと
  - ・ アンケート記入と提出のお願い

(記録：西川 真樹子)